

SAPPORO

【開拓使編】

文化財散歩

さつぽろ

【発行】

札幌市歴史文化のまちづくり推進協議会（事務局：札幌市市民文化局文化財課）
札幌市中央区北1条西2丁目札幌時計台ビル10階 電話 011-211-2312

令和3年3月



令和2年度文化庁
文化資源活用事業費補助金
（観光拠点整備事業）



開拓使編ストーリー

浮かび上がる「開拓使」の遺産

— 札幌のまちづくり・ものづくり

近代国家を目指す明治時代の日本にとって、北海道を開拓し、その資源で産業を興すことはきわめて重要なことでした。そのための国の機関が「開拓使」です。札幌市街地を歩くと近代化の揺り籠ともいえる役割を果たした施設群に触れることができます。

なぜ北海道に開拓使がおかれたのか

明治政府は欧米列強からの独立を守るため、近代化と産業振興に取り組みます。北海道は南下するロシアへの防備として重要な場所でしたし、北海道の豊かな資源を開発することは近代国家に生まれ変わろうとする日本の国益に合致するものでした。そこで明治2年(1869年)7月から明治15年(1882年)の間、北海道開発のために設置された国の機関が「開拓使」です。北海道開発は重大な国家プロジェクトだったのです。

北海道は本州以南とは気候も土地条件も異なります。範を求めたのは条件が似ていて大規模な開拓の経験がある米国。開拓次官・黒田清隆はアメリカ合衆国連邦政府の農務長官・ホーレス・ケブロンを開拓使顧問として招きます。ケブロンは多くの外国人技術者(お雇い外国人)を指揮して地下資源調査、測量、道路開削、諸産業の振興に取り組みます。札幌農学校教頭のウィリアム・スミス・クラーク、地質技師のベンジャ

ミン・スミス・ライマン、果樹栽培のルイス・ペーマー、酪農・畜産のエドウィン・ダンなどその数、78人。「開拓使」は北海道の自然の特性を見極めて近代技術を積極的に取り入れました。現・北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)の敷地内には開拓使本庁舎が発掘され、史跡「開拓使札幌本庁本庁舎跡」として残されています。



開拓使札幌本庁
本庁舎跡



ウィリアム・スミス・クラーク
(北海道大学付属図書館所蔵)

創成川の東側にてきた工業地帯

創成川(大友堀)の東側には、明治5年(1872年)から後に工業局・物産局・民事局となる開拓使の担当掛により、製材、木工、馬具、鋳物、製粉、製網、製糸(紡織所)、製糖、味噌醤油醸造などの工場群が整備されました。それらでは水車に加え最新鋭の蒸気エンジンを動力にしていました。その背景には創成川の舟運の便と、工業用水に使える豊平川の流水の存在がありました。

明治9年(1876年)に北3条通沿いに麦酒醸造所(現・サッポロファクトリーはその跡地につくられたサッポロビールの工場)が開業しました。事業責任者の旧薩摩藩士・村橋久成は東京ではなく札幌での建設を主張し実現します。なぜなら醸造技術者の中川清兵衛がドイツで学んできたのは冷製発酵の醸造法で、大量の天然氷と冷涼な気候が成否のカギだったからです。

同年、札幌農学校も開校します。卒業後は一定期間、開拓使での奉職が義務づけら

れ、近代技術を学んだ優秀な卒業生が農業や土木分野で活躍しました。札幌農学校演武場が現・時計台です。

亜麻、ホップ、リンゴ、ブドウ、イチゴなども官園や本庁周辺で試験栽培されました。



麦酒醸造所(北海道大学付属図書館所蔵)



旧札幌農学校演武場(時計台)

知ってる？



よく似た天井中心飾り

明治の同時期に建てられた豊平館、清華亭、旧永山武四郎邸。いずれの建物にも洋間の天井には「天井中心飾り」といわれる漆喰でできたレリーフがあります。これは高度な伝統技術を持つ職人が制作したものです。よく見るとそれぞれ特徴もあり、比べて見るのも良いかもしれません。



それぞれどの建物でしょうか？
(答えは次ページ)

農民として、兵士として働いた「屯田兵」

移住者を定着させ、北の守りを固めるために採用されたのが、屯田兵制度です。平時は農耕・開墾に従事し、有事には兵士となるよう軍事訓練が義務づけられました。北3条通りは屯田兵の父と呼ばれた永山武四郎が自邸から馬で開拓使札幌本庁舎に通った道でもあります。

開拓使のマークは赤い五角形の星（五稜星）。時計台、豊平館、清華亭など開拓使ゆかりの建物に今も輝いています。清華亭の傍の池では湧水を利用してサケマスのみ化事業も行われていました。随所で「開拓使」の遺産が浮かびあがる札幌。この街を歩くと、近代国家建設に尽力した先人の思いに触れることができるのです。



北3条通り



旧永山武四郎邸

ストーリーに関連する文化財

文化財の名称	指定等の状況	所在地
エドウィン・ダン記念館	国登録有形文化財、札幌景観資産(第20号)、さっぽろ・ふるさと文化百選(建物)No.42	南区真駒内泉町1丁目6-1
北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)	国指定重要文化財、国指定史跡	中央区北2・3条西5・6丁目
開拓使札幌本庁舎跡および旧北海道庁本庁舎	国指定史跡	中央区北2・3条西5・6丁目
桑園碑	指定なし	中央区北1条西16丁目
創成川	さっぽろ・ふるさと文化百選(街並)No.85	中央区 北区 東区
創成橋	さっぽろ・ふるさと文化百選(街並)No.85	中央区南1条西1～東1丁目
豊平川	指定なし	南区 豊平区 中央区 白石区 東区
北3条通	さっぽろ・ふるさと文化百選(街並)No.77 (ホレンガ舗装とイチヨウ並木)	中央区北3条西4丁目北3条広場 (さっぽろ・ふるさと文化百選指定区域)
旧札幌麦酒会社工場(サッポロファクトリー)	さっぽろ・ふるさと文化百選(建物)No.1	中央区北2条東4～5丁目
札幌農学校とクラーク博士	さっぽろ・ふるさと文化百選(遺跡)No.53	北区北9条西7丁目 北海道大学
旧札幌農学校演武場(時計台)	国指定重要文化財	中央区北1条西2丁目
旧開拓使工務局庁舎	国指定重要文化財	厚別区厚別町小野幌50-1 北海道開拓の村
旧永山武四郎邸	道指定有形文化財	中央区北2条東6丁目2番地
豊平館	国指定重要文化財	中央区中島公園1-20
清華亭	市指定有形文化財	北区北7条西7丁目
偕楽園跡	さっぽろ・ふるさと文化百選(遺跡)No.55	北区北7条西7丁目 偕楽園緑地
サッポロビール博物館	さっぽろ・ふるさと文化百選(建物)No.33	東区北7条東9丁目

※上記一覧には、公開されていないものもあります。

※開拓使の事績を伝え、文明開化の先端をいった北海道の気風をよく表している時計台、豊平館、清華亭などの洋風建築群は、「開拓使時代の洋風建築」の名称で北海道遺産に選定されています。

知ってる？

星の数を数えてみよう

開拓使のシンボル「五稜星」。時計台、豊平館、清華亭など開拓使ゆかりの建物にはこの星の印が見られます。例えば時計台には17個の星があります。色々な建物の星を数えてみるのも一つの楽しみ方かもしれません。

時計台

豊平館

清華亭

ストーリーに関連する文化財をめぐってみよう!



1 札幌農学校とクラーク博士



2 清華亭
観覧時間 9:00~17:00
休館日 年末年始(12/29~1/3)



3 借楽園跡



4 創成川



5 北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)
※令和3年3月現在大規模改修のため休館中



6 北3条通



7 旧札幌農学校演武場(時計台)
観覧時間 8:45~17:10
休館日 年始(1/1~3)



8 桑園碑



9 豊平館
観覧時間 9:00~17:00
休館日 第2火曜日、年末年始(12/29~1/3)



10 サッポロビール博物館
観覧時間 11:00~18:00
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始



11 旧札幌麦酒会社工場(サッポロファクトリー)
観覧時間 10:00~22:00



12 旧永山武四郎邸
観覧時間 9:00~22:00
休館日 第2水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/29~1/3)



13 創成橋



14 豊平川



カフェでちょっとひと休み

A 喫茶室ハルニレ
(豊平館内)

B SIAFラウンジ
(旧札幌控訴院庁舎(札幌市資料館)内)

C ナガヤマレスト
(旧永山武四郎邸及び旧三菱鉱業寮内)

営業時間はウェブサイト等でご確認ください。